

環境人間学部

兵庫県立大学

2022



University of Hyogo

School of Human Science and Environment



Campus Guide Book 2022



2004年スマトラ津波の被災地、インドネシア・パンダアチェ市内の被害調査。

小学生の「まちあるき水害防災教育」。被災者の話と当時の写真から災害の危険性を学ぶ。

Case1

防災心理学・防災教育学 木村 玲欧教授

「災害」「防災」について、心理学・行動科学の立場から研究しています。例えば、被災者へのインタビューやアンケート調査によって日常とは異なる災害時の心理・行動の特徴を明らかにしたり、地域の歴史災害を掘り起こして小中学校の防災教育教材を作ったり、住民や企業の人たちとワークショップを行って地域防災力・組織対応力を向上させたりと、「現場（フィールド）」を大切にしたアクション・リサーチ研究を行っています。

21世紀前半、日本は「大災害時代」になると考えられています。自然災害は「めったに起きないもの」ではなく「頻繁に発生して、その度に命を脅かすもの」になります。災害が起こる前までに人々や社会をいかに強くするか、私の研究の目標です。



環境人間学部



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境と人間の暮らしを探究する環境人間学部。その目指すところは2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に定められた17のゴールと大きく重なっています。本学部の多くの教員がその達成に向けて取り組んでいます。ここではそのいくつかを紹介しましょう。

Case2

生物地球化学 伊藤 雅之准教授 気象学 奥 勇一郎准教授

全国で最多のため池を有する兵庫県。夏はため池の底が貧酸素状態になりメタンなど大量の温室効果ガスが生成・水面から放出して地球温暖化へ寄与する可能性があること、一方でため池の水面とその周囲の陸面との熱容量の差によって夏の高温化を緩和する効果があるということに着目して研究を進めています。播磨や淡路地域の水田や農地への「かんがい」を支えてきたため池が地域環境に及ぼす影響について、現地観測と数値シミュレーションにより明らかにしたいと考えています。地球環境・地域環境の目線でため池をメリット・デメリットの両面から評価し、その管理手法の在り方について多面的に提言することでこの地域の未来の暮らしをデザインする一助になればと思います。



ため池で採取した水試料はpHなどを現場で、温室効果ガス濃度を実験室で測定します。



気象と温室効果ガス放出の連続観測を行い、季節変化の要因を説明します。



Case3 多文化共生教育・国際教育協力 乾 美紀教授

貧困、マイノリティ、開発途上国など不利な立場にある子どもたちが平等な教育機会を享受するにはどのような政策がとられるべきかについて研究しています。ゼミ生と一緒に姫路や神戸に住む外国人の子どもたちの補習教室で勉強を教えたり、ラオスに学校を建設する活動をしたりして、子どもたちが少しでも質の高い教育を受けることに繋がる実践を続けています。



Case4 文化人類学 深川 宏樹准教授

文化人類学の観点から、世界中の多様な文化を比較しながら、人間社会において、いかに紛争が生起するのか、そのメカニズムを解明し、そこから平和構築の方法について考える研究を行っています。また、植民地支配に端を発し、現在まで続く国家間不平等（新植民地主義）の構造を研究し、現代世界において、すべての人々が平等に暮らせる社会間・文化間の理想的な関係を構想することを目指しています。



Case5 公衆栄養学 中出 麻紀子准教授

大学生を含む若年成人は、今後の未来を担う重要な世代であるにも関わらず、食事や食習慣の乱れが危惧されており、この世代に対する対策も十分に行われていません。そこで、若年成人を対象とし、健康的な食事や食習慣（例えば朝食摂取、十分な野菜摂取、バランスの良い食事など）の関連要因についての研究や、健康的な食事を実現可能にする食環境整備の研究、心理的な側面に着目した行動変容の研究などを行っています。



一見バラバラなSDGsのゴール間をつなぐ 関係性を見つけよう

SDGsの忘れられがちなポイントは17個のゴールをバラバラに考えるのではなく、例えば、節水（ゴール6）が、水の浄化や配水のためのエネルギー節約を通じて省エネにもつながる（ゴール7）といったように、相乗効果（シナジー）を促す点にあります。本学部には、このページに示されている他にも様々なゴールに関係する研究室があり、それぞれがつながることで、思わぬ相乗効果を生む可能性に満ちています。当研究室では、全国の地域におけるSDGs達成度をはかる指標を使って「社会の中のつながり」に気付く研究を進めています。



【解説】
環境政策
増原 直樹准教授

環境人間学部 学びのINDEX

「人間学」を基盤にした学び

P5

環境人間学部では、学際的・総合的な視野に立って人間と環境のかわりを理解するために、1年次に基盤教育として「人間学」を学びます。これら多様な人間学科目(心身、生活、社会・文化、自然)は環境人間学部の学生として専門を学ぶ上で基礎となる大切な科目です。2年次からは4つの系に分かれ、各系と課程でフィールドワーク(環境人間学演習Ⅰ・Ⅱ)などの必修科目を受講します。時には学外に出て、地域や人々の暮らしを感じ取ることで、課題解決を行う実践力を備え、豊かな暮らしと活力ある地域の創造に貢献できる、行動力のある人材となることを目指しています。それら、「人間学」を基盤にした学びが、3年次の専門ゼミナール、4年次の卒業研究へとつながっていきます。



暮らしと環境に関わる5つの専門教育

P7

人間形成系

「人間の精神的・身体的発達」の解明とその促進

国際文化系

環境との関わりから生まれる「人間の精神文化と言語」の解明と創造

社会
デザイン系

人間が暮らす「社会・コミュニティ」の解明とそのデザイン

環境
デザイン系

人間が暮らす「自然・生活空間」の解明とその創造

食環境
栄養課程

環境との関わりの中で営まれる「人間の食生活」の解明と創造

多くの大学では、入学と同時に学科等に所属するので入学後に専門分野を変更することは容易ではありません。しかし、本学部では入学時には専門系に所属せず(食環境栄養課程を除く)、1年次に多様な学問に触れることで自分の興味や適性について熟考する期間がある点が特徴的です。また、2年次以降も専門とする系に所属しながら多様な分野の授業を受講することもでき、興味を限定せずに幅広い学問分野に触れることができます。



学部長メッセージ

現代における人間社会をみると、「国際化」は益々進展し、“Diversity & Inclusion”に対するなお一層の理解、「共生社会の創造」が求められています。さらに、持続可能で実際の「環境・空間づくり」の実現、日々の健康生活の礎となる「食や栄養」に関する知識を持つ専門家の養成は急務と言えます。そして、人間社会の持続性には自然環境、生態系の保護が極めて重要になると考えられます。環境と人間の関係を考える上で忘れてはならないことは、正しい「人間理解」であり、その根拠としての人間の倫理はいつの時代においても重視されなくてはなりません。現代社会における課題の解決を目指す上で、本学部ならびに研究科が担う役割は益々大きくなっていると思われます。多くの志を持った皆さんとともに、また本学の他学部・研究科と手を携えながら、より一層素晴らしい環境人間学部、環境人間学研究科を創造していければと思います。



環境人間学部長
兼環境人間学研究科長 内田 勇人

少人数で学びを深める「専門ゼミナール」

P12



3年次から、各系・課程を担当する教員の専門ゼミ(研究室)に所属し(選択は2年次後期)、4年次はそのゼミで卒業研究を行います。本学部では開設時から、3年次の当初からゼミ(研究室)に所属して学ぶことで、広い視野を持ちつつも、より専門性を深めることを指向していることを特色としています。また、それぞれの研究室が1学年あたり4〜5名程度であるため、教員と学生の距離が近いことも特徴です。さらに、文理融合に加えて、環境と人間の視点から研究にアプローチをするため、同じ学部においても幅広い研究内容に触れることができます。



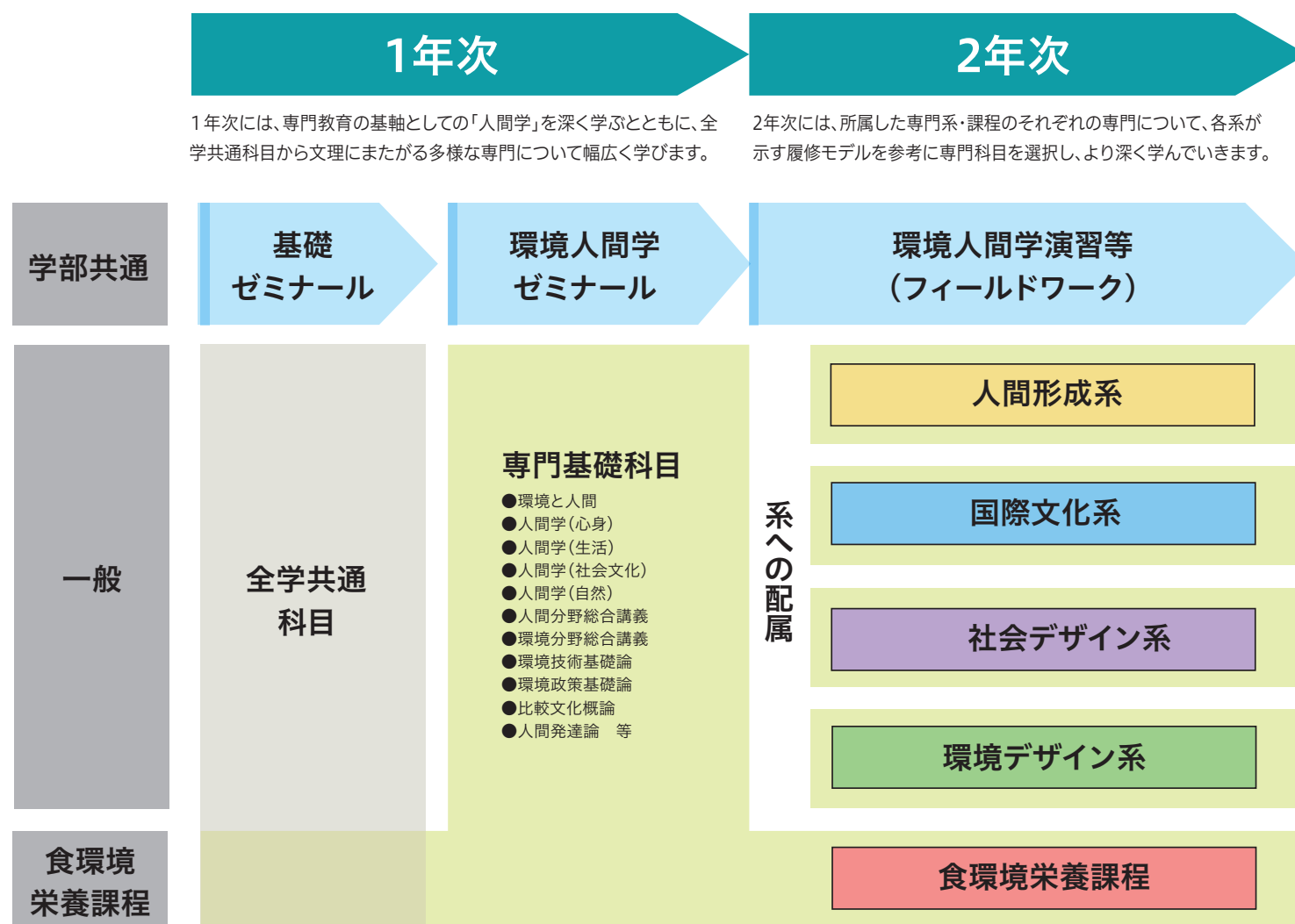
地域と連携した実践的な学び

P15

本学にはエコ・ヒューマン地域連携センター(EHC)と先端食科学研究センターの2つの附属センターがあり、それらセンターを拠点に環境人間学部の学生・教員が地域連携活動を推進しています。環境人間学部で学ぶ「人間学」を基盤にその知識を生かして、実際の地域課題を地域に関わる様々なアクター(住民、行政、NPO、企業、専門家など)と連携しながら、系・課程の枠を超えて地域課題解決の新しい形を生み出すことに日々挑戦しています。



人間学を基盤にした学び

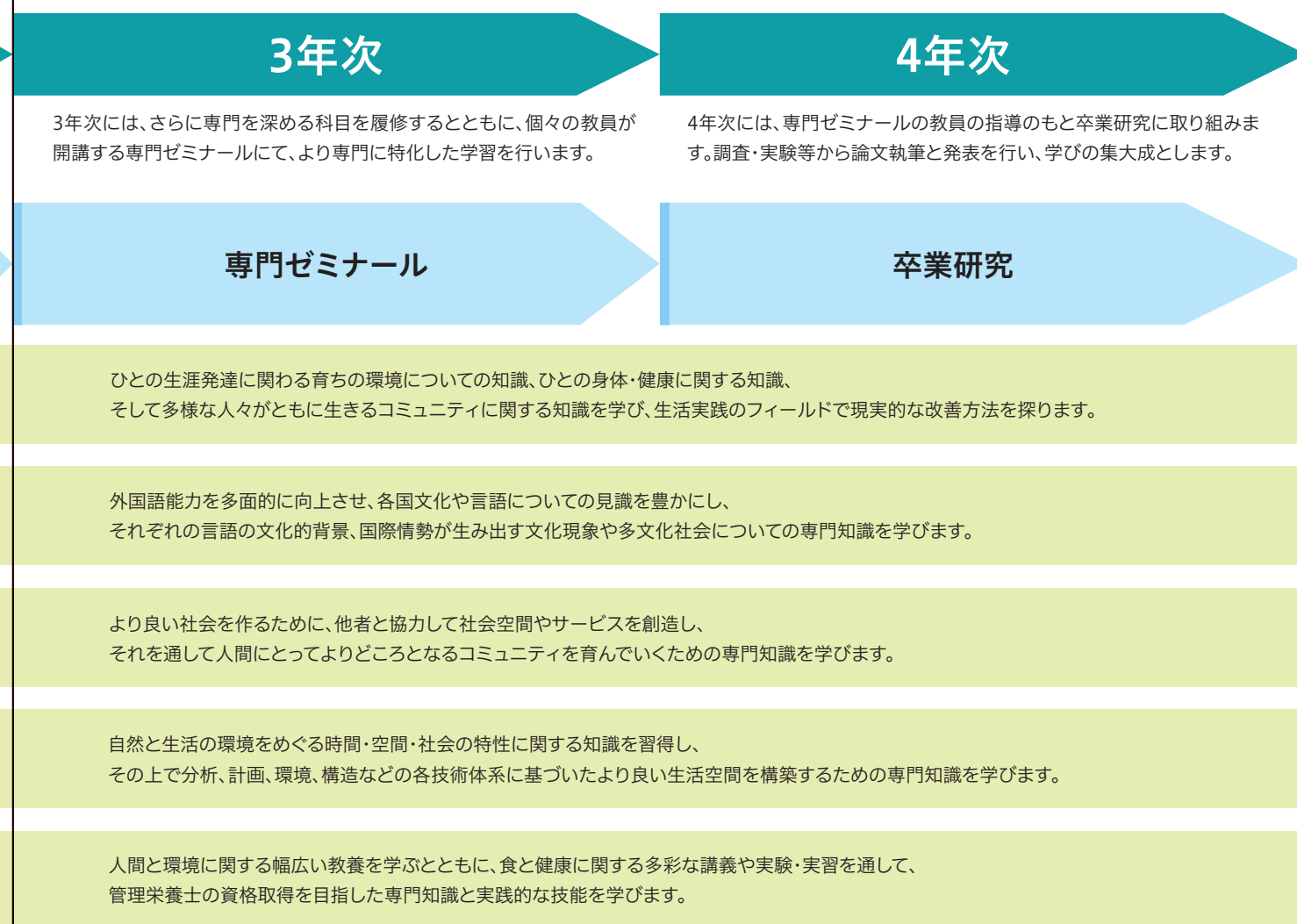


人間学で学ぶこと

環境人間学部では「人間への深い理解」を最も重視しています。そのために本学部では4つの人間学科目(心身、生活、自然、社会・文化)を教育カリキュラムの基軸に据えています。「人間学(心身)」では、生涯にわたる心身の成長や発育、発達について、教育学、心理学、健康科学の視点から学びます。「人間学(生活)」では、生活空間、家庭、福祉など生活と環境に関わる様々な事象からライフデザインを考え、よりよい自己実現と社会参加を達成する方策を考究します。「人間学(社会・文化)」では、暮らしを左右する社会・文化的な環境(コミュニティ、まち、経済、福祉、言語、文化など)を学び、そのあるべき姿について考えます。「人間学(自然)」では、自然界の大気、水、土壌環境とヒトを含む生物集団の成り立ちと関係を学ぶことで、ヒトと自然の共生の在り方について考えます。



1年次で全学共通科目と専門基礎科目を学んだ後、各自の進路希望も踏まえて2年次に4つの専門系のいずれかを選択し(食環境栄養課程を除く)、各系・課程が示す履修モデルを参考に専門科目の中から履修する科目を選択します。



注: 4つの系には受け入れ人数に限度を設けています。希望者が多い系の配属では1年次の成績などが考慮されます。
注: ゼミ(研究室)には受け入れ限度人数があり、希望者が多い場合は成績などが考慮されます。



科目紹介

基礎ゼミナール

大学での学習と研究で求められるスキル(情報整理力、論理的思考力、知的探求力、親和力、協働能力)を、様々な専門分野の事例を通して、少人数のグループワークなどから習得します。

環境人間学ゼミナール

基礎ゼミナールの発展として、興味のある事例に関する文献の調べ方、情報の判断方法などを、ディスカッションや調査活動を通して学び、専門科目につながる知識と実践的能力を修得します。

環境人間学演習等(フィールドワーク)

環境と人間の暮らしに関わる課題やそれに対する取り組みの状況について、各系・課程の専門テーマに関連するフィールド(地域、施設など)での見学や調査などの実体験から学びます。

人間形成系

子どもから高齢者に至るあらゆる世代の人々の、心身ともに充実した健康的な生活を維持増進し、多様な自己実現のあり方や社会参加が保障される環境づくりを目指します。「健康」「教育」「心理」をキーワードとし、生涯発達の視点から多様な「人の育ち・生き方(well being)」を見つめる力を身につけます。



3つの特徴

Point.1

ひとの育ちの環境を探究する

少子高齢化が進む現代社会で、人生をどう生きるかは大きなテーマです。生涯発達の視点に立って、ひとの育つ環境を多角的な視点から考えます。

Point.2

ひとの生き方の多様性に目を向ける

年齢・世代、身体的特徴、国籍、家族、育ちの環境など、多様な背景を持つ人々の現実を知り、これからのよりよい生き方・かかわり方を考えます。

Point.3

現場の視点から改善方法を探る

現状を把握・分析するための知識・研究方法論を生かし、実際の生活実践のフィールドで主体的に関わり、体験的に学びながら、現実的な改善方法を探ります。

授業・実習紹介



■環境人間学演習Ⅰ(FW)

2年次前期に、4名の教員が提示するテーマから興味のあるものを選択します。現場訪問や調査・インタビューなどのフィールドワークを通して、地域・社会課題の現状を把握し、改善方法を議論します。



■自然活動実習

カヌー、ヨットなどのマリンスポーツや野外活動を体験するだけでなく、ナイトハイク(夜の林道を五感を頼りに散歩する)など自然環境と人間のかかわりについて深く考える2泊3日の実習です。



■発達環境論

子育てや友人関係、災害や病いの経験などの具体的社会実践に基づき、発達心理学の観点から生き方の多様性について学び、これからの社会について、グループワークや発表などを通してともに考えていきます。



学生メッセージ

小原 雛子さん

環境人間学部 環境人間学科
人間形成系 4年
愛媛県
今治西高等学校出身

多くの出会いと経験の中で 自分だけの自分らしい大学生活を彩ります

私はやりたいことがはっきりしないまま子どもが好きだという理由で人間形成系を選択しました。人間形成系では、講義内のグループワーク・少人数でのゼミ活動など体験から学ぶ機会が多くあります。ゼミ活動では新型コロナウイルスの影響による高校生の居場所の変化に関する調査を行い、高校生300名以上の協力を経て半年間にわたる共同研究を経験しました。また、講義では「ホームレスがホームレスになった理由は本当に自己責任によるものなのか?」といったような現実問題に着目し、グループワークの中で自分の当たり前は他人の当たり前ではないことを学びました。これら多くの経験や出会いは、自分の「好き」から自分の「やりたいこと」を見つけるきっかけになりました。

国際文化系

現代社会はグローバル化が進み、自国の状況を知るのみならず、海外情勢を知ることや異文化への深い理解が不可欠です。国際文化系では、英語をはじめとする語学やそれぞれの言語の文化的背景、国際情勢が生み出す文化現象や多文化社会について学び、社会的なコミュニケーション能力と異なる文化への理解や共感を持てる人材を育成します。また、多面的な文化理解に基づいた人間力を磨きます。



3つの特徴

Point.1

人間学の基礎を学ぶ

1～2年次では、教養科目、英語、外国語、イングリッシュ・スタディーズ、および情報関連科目とともに、国際的な視野を養うための人間学の基礎を学びます。

Point.2

各国文化や言語への理解を深める

2～3年次には、ことばと文化、そして環境人間学演習Ⅰ、Ⅱを通して、外国語能力を多面的に向上させ、各国文化や言語についての見識を豊かにし、移民問題や文化衝突といった現代における国際問題について考えます。

Point.3

グローバル人材を育成する

専門教育科目においては、アジア、ヨーロッパ、日本など様々な地域における文化事象を学び、専門性を深めます。異なる文化を理解する力や、国際的な関心や語学スキルを活かすことができる人材を育成します。

授業・実習紹介



■イングリッシュ・スタディーズ

グローバル化に対応するため、国際語としての英語の歴史、言語としての英語の仕組み、英語の修辞や様々な英語話者の使う英語についてなどの知識や技術を習得します。



■環境人間学演習Ⅰ(FW)

アジア、ヨーロッパ、日本など様々な地域における文化事象を学びます。フィールドワークを通じて、兵庫県と海外との関係を中心に、人口移動や移民について、また観光における海外発信について考えます。



■少人数、丁寧な卒論ゼミ指導

3～4年の卒論ゼミでは、アジア、ヨーロッパ、日本、アメリカなど様々な地域における文化事象を学び、専門性を深めます。少人数による丁寧な指導を行っています。



学生メッセージ

明石 海夏さん

環境人間学部 環境人間学科
国際文化系 4年
兵庫県
相生高等学校出身

言語や文化を見つめる新たな視点を 持つことで自分自身の視野も広がります

言語や文化を自分の持っている視点とは別の視点から学ぶことができる、それが国際文化系の一番の魅力であるように思います。中でも2年生で受講した国際理解論は、言語について、話されている地域の文化的背景とともに理解を深めることができ、それまで言語といえば文法と考えていた私の視野が広がるきっかけとなりました。現在は、主に認知言語学を研究している木本先生のゼミで、流行りの若者言葉や、英語の発音のコツ、私達が耳にしたことのない民族のことや文化まで、色々な話題について他のゼミ生達と意見を交換しています。私は特に、日本と英語圏の動物や色に対するイメージの違いについて調べています。

社会デザイン系

都市や農村、防災や福祉、メディアなど、私たちの身の回りの生活や暮らしに関わることを多岐にわたって探求しています。「社会・コミュニティの変化を的確にとらえる」「多様な人々が対等に暮らせる社会をつくる」の二つを教育理念として掲げています。



3つの特徴

Point.1

コミュニティを理解する

地域計画、都市・農村計画や人文地理学的な視点から、コミュニティが抱える課題を明らかにし、持続可能なコミュニティのあり方を構想します。

Point.2

多様な政策を学ぶ

環境経済・環境政策、防災・観光・福祉政策などのアプローチによって、よりよい社会をつくっていくための政策のあり方を構想します。

Point.3

コミュニケーションを深める

多様な社会課題を解決するために、メディアや地域、人材育成などのアプローチにより、より良いコミュニケーションのあり方を探求します。

授業・実習紹介



■環境人間学演習Ⅰ(FW)

二年前期では、フィールドワークをテーマにした演習を行います。インタビューの方法論を学んだ後、多様な教員の現場体験を元にしたフィールドワークの方法論を学びます。



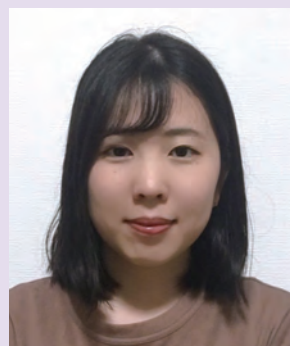
■環境人間学演習Ⅱ

二年後期では、「グループワーク技法」「プレゼンテーション技法」「データ統計処理技法」「コミュニケーション技法」の4技法を効果的に身につけていきます。



■卒研ワークショップ

卒業研究の作成途上の段階で、学生主導のワークショップを行います。お互いの研究発表の後、研究の方向性や課題についてアドバイスし合い、より良い卒論を目指します。



学生メッセージ

岡本 瑞生さん

環境人間学部 環境人間学科
社会デザイン系 4年
兵庫県
葦合高等学校出身

プロジェクトを通して地域の魅力を発信 地域の方々や仲間と共に課題解決に挑む

私は昔から活動の一環で、宍粟市の魅力をより多くの人に知ってもらうため、市の食材を使ったメニューを開発・発信するプロジェクトを行いました。宍粟市の方々や学生同士でコラボし、イベントに向けてプロジェクトの管理を担当しました。プロジェクトを動かしていくことは大変難しく、つまづくことも多々ありましたが、とにかく挑戦してみる、分からないことは誰かに聞いてみる、難しいことは誰かに頼んでみるということを心掛け、最後まで自分たちのやりたいことができました。この活動を通して、人と何かを一緒にすることの楽しさを知り、相手の立場にたって物事を考え、真摯に向き合うことの大切さを学びました。将来は、自分が生まれ育った街のために働きたいと思い、公務員を目指しています。

環境デザイン系

自然と生活の環境をめぐる時間・空間・社会の特性に関する知識、分析・計画などの技術によって、より良い生活環境を構築する専門知識を学びます。また、ライフスタイルの観点から総合的にとらえ、内在する問題や可能性を発見し、サステナブルで実際の環境・空間づくりを実現するための技術力を養成します。



3つの特徴

Point.1

自然環境の探求

自然を理解し、その保全に関連する科目、人にとってより良い自然環境を実現していく技術に関連する科目から構成されています。

Point.2

新しい環境デザインの創造

建築学を中心にした環境デザイン科目と環境人間学部の関連科目を学ぶことで新しい環境デザインを学ぶことができます。

Point.3

知識を生かした専門家育成

より良い自然環境・生活空間の創造や構築に関する知識や技術を生かすことのできる分野で活躍する専門家の育成を目指します。

授業・実習紹介



■環境人間学演習Ⅰ(FW),Ⅱ

Ⅰ(FW)は自然科学と建築学の融合したフィールドワークを実施します。Ⅱは教員ごとに専門ゼミ体験のような演習を行います。2つの演習で調査や分析方法など基礎的手法の習得を目指します。



■環境学実験1,2

物理・化学・生物・地学の4方面から環境データやサンプルの調査、分析、解析を行い、自然のメカニズムや環境問題の本質を理解し、保全するための多様な知識と技術の習得を目指します。



■建築デザイン演習Ⅰ～ⅧⅢ

設計の基礎である図面、模型作成や設計理論に基づく計画作成を行います。さらに立地特性を考慮しながら、分析、構想、製図、プレゼンを行い、総合的な建築デザイン能力を身につけます。



学生メッセージ

中村 舞歌さん

環境人間学部 環境人間学科
環境デザイン系 4年
京都府
南陽高等学校出身

環境と人間にとってより良い建築について あらゆる観点から総合的に学べる

私は昔から建築の内装に関心があり、建築学だけではなく人間が快適に過ごせるように、空間や環境についても学びたいと考えていました。建築学が学べる建築学科がある大学は数多くありますが、環境と人間の関係を考えて、デザインできる建築家の輩出を目指す大学は少ないのが現状です。また、本学部には文系・理系どちらの学生も在籍しており、さまざまな学問を専門とする教員が所属しているため、総合的に物事を考えられる力を養うことができます。授業は、建築士の国家試験に出題される問題に対応できるように、オフィスや集合住宅などの建築物ばかりでなく、まちづくりやインテリアデザインなど幅広く学ぶことができます。大学に入学する前は漠然と将来は住宅関連の仕事を希望していましたが、本学に入学することによって、環境と人間の両者にとって良い建築をデザインしたいという具体的な夢ができて、就職活動も順調に進めることができたと考えています。

食環境栄養課程

食環境が複雑化した現代、多くの食品や情報が入手可能な一方で、誤った情報や食べ方で健康を損なう人も多くいます。本課程では、幅広い教養、専門的実践能力と倫理観、豊かな人間性を有する栄養・食のプロフェッショナルである「管理栄養士」を養成し、人々のQOL向上と健康な社会の実現を目指しています。



3つの特徴

Point.1

専門家への道を切り開く

卒業時に栄養士資格、管理栄養士国家試験の受験資格が得られます。また教職科目を履修することで栄養教諭への道も開かれています。

Point.2

少人数での充実した教育環境

食と健康に関する多彩な講義や実験・実習を少人数で実施することで、豊かな知識と優れた技能、専門的実践能力を身につけます。

Point.3

最先端科学を反映した卒業研究

卒業研究により、論理的思考力や科学的探究力を養います。これにより「研究のできる管理栄養士」の育成を行っています。

授業・実習紹介



■基礎栄養学実験

二年次前期では、日頃摂取している食品に含まれる五大栄養素（炭水化物・タンパク質・脂質・ビタミン・ミネラル）の定量実験などを通して食品への理解を深め、また栄養評価の重要性を学びます。



■栄養教育実習1

三年次前期では、聴き手の心に響き、伝わる「栄養教育のスキル」を学ぶために、1人1テーマで指導案と教材を作り発表し合います。人前で話し方、教材の見せ方の工夫などを身につけます。



■ライフステージ栄養学実習

三年次後期には、妊娠期、乳児期、高齢期などのライフステージの食事について、適切な栄養バランスとおいしさ、テクスチャーなどを加味した献立を作成して実習を行い、実践力を身につけます。



学生メッセージ

守本 彩乃さん

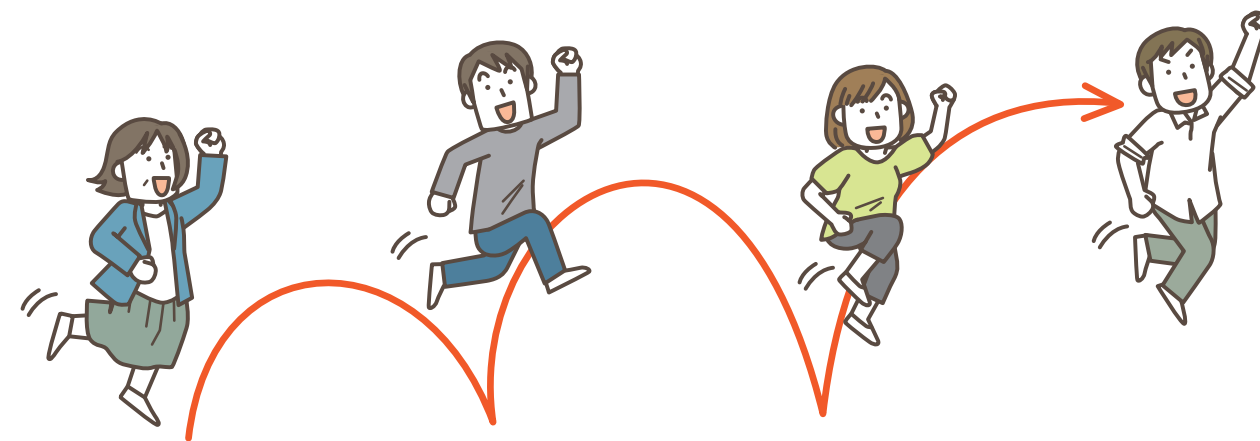
環境人間学部 環境人間学科
食環境栄養課程 4年
兵庫県
東播磨高等学校出身

実習や講義、資格取得を目指した学びの全てが私の人生を豊かにしてくれる

食環境栄養課程は、実習や授業が必修項目であるため、2年生以降はクラス単位で行動することが多いです。大変な実習や講義も、この学友とともに励むことで、やりがいや達成感を得ることができます。例えば、給食管理実習では100食程度を提供します。そのために献立を立て、何度も試作を重ねて、発注など前準備をして、当日調理後、提供します。準備も調理も作業が多く、大変ですが班員と分担し協力することで、成功した時はとてもやりがいがあります。もちろん、先生方もしっかりサポートしてください。管理栄養士資格取得のための学びは、単に知識だけではなく、臨機応変な問題解決力や、コミュニケーション能力も高めることができ、この先の人生を豊かにするものだと思います。

少人数で学びを深める「専門ゼミナール」

専門ゼミナールは、本学の学生にとって学びの要となるプログラムで、2年次までに学んできたことをベースに、自分自身が興味を持ったテーマを掘り下げて研究を行います。一般的なゼミ活動より長い2年間にわたって、1ゼミナールあたり5人程度の少人数で行われるのが本学部の専門ゼミナールの特長です。フィールドワークや実験などさまざまな研究活動以外にも、イベントや合宿、プロジェクトなどに教員と学生が共に取り組む2年間は、卒業後の大きな財産となるかけがえのない時間でもあります。



1st Step

文献講読を通して専門知識を身につけ、また、演習を繰り返し専門スキルを習得。

2nd Step

自分の関心分野に基づいて情報収集を進め、ディスカッションを通して研究テーマを決める。

3rd Step

テーマに基づきインタビューや野外調査、実験などを行い、データを集める。

4th Step

研究結果を論文にまとめ、聴衆の前でプレゼンテーション。4年間の学びの集大成！



文献講読



資料収集



インタビュー



スキル修得



ディスカッション



現地調査



研究発表

4領域(人間×文系、人間×理系、環境×文系、環境×理系)の専門ゼミナールについて、その一部を紹介します。

YouTubeの環境人間学部チャンネルで紹介動画も配信中。

是非チェックしてみてください。

人間×文系

臨床心理学・分析心理学
井上 靖子 ゼミナール

多様な背景を持つ人々への
「こころの理解力」を
心理療法を通し身に付ける



日常生活で体験する様々なこころの問題の理解や、こころの傷(トラウマ)やこころの病を抱えた人に対するカウンセリング(心理療法)について研究しています。児童養護施設におけるフィードワークや、夢分析や箱庭療法など心理療法の実践を通して、さまざまな人生経験を持つ人々への、目に見えないこころを通して理解力を身につけていきます。



イギリス近現代文化論
石倉 和佳 ゼミナール

イギリスの近現代文化を
日本の近代史などとも
関連づけ学際的に学ぶ



イギリス文学作品を中心としたイギリス文化の研究、およびイギリス文学が日本にどのように受容されたかという観点から、明治・大正期の英学史を研究しています。イギリスや日本の近代から現代にかけての歴史的、社会的な文脈を明らかにしながら、一つの分野を他文化と関連付けて学際的に学んでいます。



食品プロセス科学・食品物性
吉村 美紀 ゼミナール

食品ハイドコロイドを用いた
食感と嗜好性を両立させた
加工食品の開発を目指す

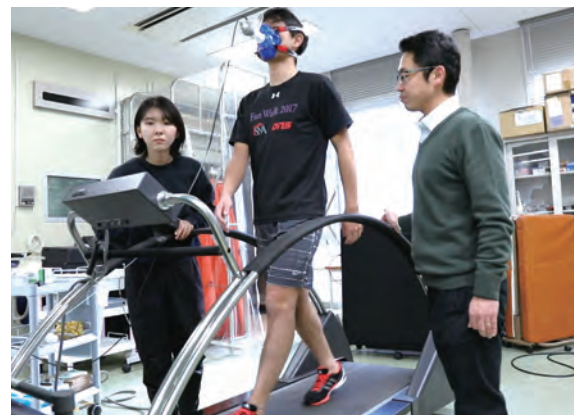


寒天などのゲル状食品、かまぼこなどの練り物や麺類といった、身近な食品に含まれる食品ハイドコロイド。これを用いることでテクスチャー(食感)と嗜好性(おいしさ)を両立させ、咀嚼・嚥下困難な高齢者や、幼児の食環境の改善にも寄与する加工食品の開発につなげる、基礎研究と応用研究を進めています。



トレーニング科学・体力科学
森 寿仁 ゼミナール

競技力向上・健康増進への
より効果が高く、効率の良い
トレーニング手法を研究



効率よく高い効果が得られるトレーニング方法について研究しています。近年注目しているのは「低酸素トレーニング」で、アスリートの競技力向上だけでなく、一般の人の健康増進(生活習慣病改善など)にも高い効果が期待されています。研究だけでなく、コミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキルも磨いてほしいと思います。



日独の都市計画・まちづくり
太田 尚孝 ゼミナール

現場体験や人々の声に
耳を傾けることを意識した
都市計画・まちづくりを



人間が住みやすく豊かに暮らせる環境をつくるため、都市計画やまちづくりをどのように進めていくかを研究します。理想論やデータだけに頼ることなく、人々の声に耳を傾け、その空間を実際に現場で体験しようとする姿勢や、人によって定められた各種法制度をどのように変えていくべきかという、健全な批判的思考を持って取り組んで欲しいと思います。



文化人類学・環太平洋文化
深川 宏樹 ゼミナール

様々な文化を比較研究し
自分たちの社会や文化を
より良きものへ変えていく



文化人類学とは世界中の人類の様々な文化を比較することを通して、そこに根ざしている人類の普遍的な事柄について研究する学問です。国内社会に当たり前のよう存在している暗黙の文化的な前提、それを改めて見つめ直し、国際的な視野を持つことで、自分たちの社会や文化をより良い方向に導ける手法について考えていきます。



生物地球化学・陸水学
伊藤 雅之 ゼミナール

温暖化など環境問題を
野外調査や実験により
メカニズムから解明する



河川・湿地のほか、兵庫県が全国で一番数の多いため池などを対象に調査を行い、温暖化や水質汚染の原因となる炭素や窒素が、自然環境の中でどのように循環していくかについて研究します。研究を通じて、データを正確に整理・分析するスキルや手法に加え、現場で求められるチームでのコミュニケーション能力も養うことができます。



建築論・建築設計
水上 優 ゼミナール

人間・建築・環境の関わりを
常に意識できる建築家の
あり方を考えていく



住宅から様々な公共施設まで、建築の設計とフランク・ロイド・ライトなどの建築家の思想の研究をしています。建築家の思想を学ぶ一方で、設計コンペへの積極的な参加などを通して、建築物に対し他者がどのような印象を受けたのかを考えること、そしていつも根底に人間・建築・環境の関わりがあることを考えながら、設計の勉強をして欲しいと思います。



環境×文系

環境×理系

地域と連携した実践的な学び

エコ・ヒューマン地域連携センター

Eco Human Community Cooperation Center (EHC)

エコ・ヒューマン地域連携センター(略称:EHC)では、環境人間学部の学生・教員による地域連携活動を推進しています。地域連携活動とは、地域に関わる様々なアクター(住民、行政、NPO、企業、専門家など)と学生・教員が連携し、地域課題解決の新しいかたちを生みだすこととを目的としています。その活動に参加することを通して、大学における教育と研究の充実も図っています。大学の資源(知識・技術・マンパワー)を活かし、地域の課題解決や価値の創造に挑戦することで、大学と地域の相互発展を目指しています。



取り組み事例(くもべラボ)

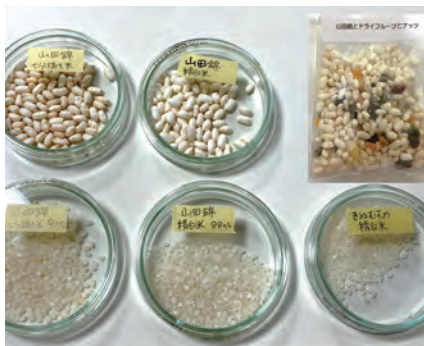
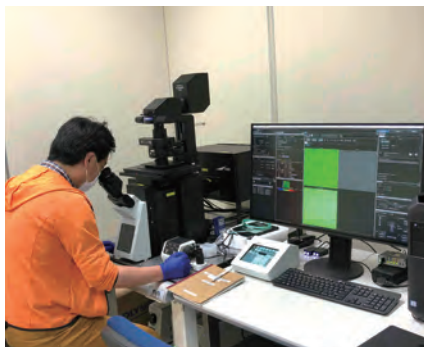
閉校になった丹波篠山市旧雲部小学校の校舎を活用したコミュニティ活性化拠点「里山工房くもべ」において、地元の人たちと一緒に雲部のコミュニティづくりとなりわいの未来を学びあう「くもべラボ」を実施中です。(杉山ゼミプロジェクト)

先端食科学研究センター

Research Institute for Food and Nutritional Sciences (RIFNS)

本センターでは、食・栄養・健康を基軸とした基礎的および先端的な研究を推進すると共に、これらの研究成果を礎に、独創的で先駆的な視点で「食を取り巻く未来をデザインする」ことを目指しています。主に以下の4事業を行っています。

- 1) 基礎及び先端研究プロジェクトの企画、推進
- 2) 地域の企業等との連携、共同研究の推進
- 3) 地域の食材を活かした県立大学オリジナルブランド商品事業の推進
- 4) 海外連携・国際的な研究の推進



取り組み事例

兵庫県立大学の「次世代研究プロジェクト」に採択され、兵庫県産の野菜・果物・香辛料などの成分分析、物性・機能性に関する研究を実施。物質・生命科学研究科/SPring-8や兵庫県立健康科学研究所とも連携しています。

環境人間学部では地域について単に学習するだけでなく、地域の方々と連携して実際に課題を解決するための取り組みを実践しています。学部に設置されている二つのセンターはそのための拠点であり、「くらし×らしさ」のデザインプロジェクトは課題解決推進のためのプラットフォームです。学生はこれらに関わることを通して実践力を身につけていきます。

「くらし×らしさ」のデザインプロジェクト

分野を越えて地域に向き合うプロジェクト活動

地域は人口減少や少子高齢化、自然の荒廃など、様々な問題を抱えています。地域の問題は相互に入り組んでおり、一つの専門だけで解決することは困難です。環境人間学部では多様な分野の教員が所属している強みを生かし、複数の教員が連携して、地域の複雑な課題の解決に地域の方々とともに取り組んでいます。「多様性・学際視点からの地域支援とその知財化—コロナ禍でのくらし×らしさのデザインプロジェクト」は教員、学生そして地域の方々とつくる課題解決のプラットフォームであり、そこから様々な取り組みが生まれています。

Web-Magazine「くらすペディア」で地域連携の取り組みや考え方を紹介しています。



分野連携による取り組み事例

食環境栄養課程
×
人間形成系



大学生の新型コロナウイルス感染症に対する予防行動・意識

中出麻紀子(公衆栄養学)・坂本薫(調理科学)・内田勇人(健康教育学)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な予防行動が求められています。特に、大学生は活発に活動すると同時に、感染を拡大させやすい層と言われています。そこで、大学生のCOVID-19に対する危機意識や感染予防行動、生活習慣の現状についてアンケート調査により把握しました。

人間形成系
×
社会デザイン系



児童養護施設でのICTを活用した支援活動の臨床実践的検討

井上靖子(臨床心理学)・井関崇博(社会学)

コロナ禍における児童養護施設への新しい支援方法として、ICTを使った支援を実践し、その可能性や課題を検証しました。具体的には大学生と数名の児童による楽器演奏動画を、施設のクリスマス会のために提供するというもので、リアルとオンラインのハイブリッドの交流が実現しました。

環境デザイン系
×
社会デザイン系



環境DNA手法を用いたため池における在来種・外来種の生息調査

伊藤雅之(生物地球化学)・中嶋一憲(環境経済学)

外来種侵入による在来種の減少を防ぐためにはどのような環境要因や社会経済的要因が生物の存在に影響を与えているかを迅速に評価することが必要です。これを可能にする環境DNAという新しい手法を用いて姫路市内のため池における在来種・外来種の生息状況や種間の関係を解析しました。

OB・OGメッセージ



環境人間学部の卒業生は公務員や教員、民間企業や研究職など、様々な領域で活躍しています。卒業生が大学時代の学びをその後の人生や実社会でどう活かしているのか、OB・OGの多様な声の一端をご紹介します。

大阪府立特別支援学校勤務



植木 大地さん

環境人間学科 健康創造コース 2014年卒業
大阪府 住吉高等学校出身

専門分野に限らないたくさんの学びと たくさんの人との出会いが今に生きています

私は大阪府の特別支援学校に勤務しています。特別支援学校では様々な支援を通して障がいのある子どもたちの成長・自立に携わっています。より良い支援とは何か？を考えながら、子どもたちの成長が見られることにうれしさ・やりがいを感じます。

大学時代は、入学当初から学びたかった分野である「運動・健康」をはじめ、興味のあった「環境問題」「国際問題」などについても広く学ぶことができました。様々なことを学ぶことができるのは本学のメリットだと思います。そして、今の仕事にも活かしています。先日、本メッセージのことでお世話になったゼミの先生から電話があり、懐かしさ・温もりを感じ、自然と頬が緩みました。勉学だけでなく、人とのつながり、関わりも学ぶことができました。

高校生の皆さんへ、大学生活では専門分野の学びだけではありません。人との新たな出会いもあります。皆さんにとっても実りある大学生活につながってほしいと思います。

全日本空輸株式会社勤務



皆川 真穂さん

環境人間学科 国際教養コース 2018年卒業
兵庫県 琴丘高等学校出身

在学中に多くの異文化に触れた経験で 自分自身の世界も広げることができました

私はANAの客室乗務員として、国内線・国際線に乗務をしています。現在はコロナ禍で乗務機会が減少していますが、一便一便を大切な学びの場として日々業務の習熟に努めています。フライトを通して自分とは異なる文化を持つお客様に接客しますし、多様な考え方を持つ外国籍クルーと共に働くことが多いため、在学中に異文化にたくさん触れることができたことが今の仕事に役立っていると感じています。

環境人間学部では自身の興味のある分野に限らず様々な分野を学ぶことができます。幅広い分野を学ぶことで視野が広がり、様々な角度から物事を考える力を身につけることができました。ぜひ皆さんも何事にも興味を持って取り組み、異文化に触れ、ご自身の世界を広げてみてください。

アイリスオーヤマ株式会社勤務



穴戸 海七人さん

環境人間学科 環境共生社会コース 2015年卒業
環境人間学研究科 博士前期課程 2017年修了
京都府 洛西高等学校出身

現場経験や学生同士のディスカッションなど 受け身でない学びの経験が実社会でも生きています

私は大学院を卒業後、大阪でBtoB営業を2年間、京都で営業所長として2年間の経験を経て、今年から東京でメーカー部門としてマーケティングに携わっています。

業務に就いたばかりの頃は、学べべき知識や経験を要する為に、受け身な状態が続きますが、慣れてくれば自らで方針を立て、周りと議論しながら思考、具体的な立案・行動へと繋げて行きます。この変化が仕事としての面白さをグッと上げてくれます。

大学時代も同じように、座学中心の講義だけでなく、実際に現地に赴いて現場を経験したり、仲間とディスカッションを深める講義が環境人間学部には非常に多く、実社会でも十分に通用する講義であったなとしみじみ思います。改めて環境人間学部で学べて良かったなと感じています。

兵庫県庁農政環境部 農林水産局治山課勤務



坂井 加奈さん

環境人間学科 環境システムコース 2019年卒業
兵庫県 須磨学園高等学校出身

多様な分野を学んだことで 多くの選択肢から自分に合った選択ができました

兵庫県職員の仕事は「兵庫県民548万人の福祉」を目的としています。所属している治山課は荒廃した森林に治山ダムを設置することで土砂の流出を防ぎ、山地災害から県民の安心・安全な暮らしを守っています。また、森林の維持造成を通じて、公益的機能の保全も図っています。講義の中で紹介されるまで知らなかった職業ですが、今では天職だと感じています。

大学では様々な分野の講義を履修し、幅広い知識、広い視野を持つことができました。多岐に渡る講義が揃う学部だからこそ、就職の際も多様な選択肢の中から自分に合った選択ができました。みなさんもたくさんの分野に触れられるこの環境で学び、自分に合った素敵な選択肢を見つけ出せる事を願っています。

日本ハム食品株式会社勤務



中西 礼治さん

環境人間学科 食環境栄養課程 2015年卒業
環境人間学研究科 博士前期課程 2017年修了
兵庫県 有馬高等学校出身

食品知識だけでなく課題解決を通して得られた 実践力が自分の武器になっています

私は現在、大学生からの夢であった食品会社の商品開発担当として働いています。スーパーマーケットに並んでいる商品や、コンビニエンスストア向けの商品などを開発しています。

大学では主に食品に関する知識を学びましたが、他にも「実践力」を身に付けることができたと感じています。授業や実験実習を通して、与えられた課題に対して周囲を巻き込みながら解決していく機会が多くありました。仕事においても、新しい商品の味が決まらない、製造機械で効率よく生産できない等多くの課題に直面しますが、学生時代に培った課題解決力（＝実践力）で乗り越えられていると実感しています。

私は社会で活きる力を学べた大学生活に感謝していますし、皆さんには自信をもって兵庫県立大学をお勧めします！



大学院（環境人間学研究科）

「人、暮らし、自然」という未来の絵模様を描こう！

環境人間学研究科は、環境と人間に関する学際的、融合的なアプローチを通じて、新たな環境創造を担う高度な識見、研究力をもった人材の育成を教育理念としています。この理念の実現に向けて、人間学の基本に立ちながら、社会のニーズに応える高度な専門知識と問題発見能力を持ち、かつ環境に関する諸問題を体系的・総合的に分析・解明できる能力を有する専門家の育成を目指しています。人、暮らし、自然についての様々な課題について、異なる分野の教員や学生が協力して課題の解決と社会の発展に取り組んでいます。今後、他研究科との連携も模索しながら、科学の発展に寄与していきます。

環境人間学研究科教員一覧

（2022年4月入学者用・2021年4月1日現在）

博士前期課程教員							
部門	教員名	専門分野	担当科目名	部門	教員名	専門分野	担当科目名
Ⅰ 人間環境部門	* 有満 秀幸	微生物学	生命環境特論	Ⅱ 社会環境部門	木村 敏文	画像工学、生態画像解析	環境画像解析特論
	* 石倉 和佳	表象文化学	近現代表象文化特論		* 木村 玲欧	防災心理学、防災教育学	防災心理・行動科学特論
	石坂 朱里	食品機能学	食品科学特論		* 杉山 武志	人文地理学	地域コミュニティ特論
	* 伊藤 美紀子	臨床栄養学、代謝栄養学	実践栄養学特論		竹端 寛	福祉社会学	福祉社会学特論
	* 乾 美紀	多文化共生教育、マイノリティの教育	多文化共生教育特論		* 田中 智子	住環境計画学	福祉住環境学特論
	* 井上 靖子	臨床心理学、心理療法	臨床心理学特論		* 土川 忠浩	建築環境学	住環境学特論
	* 内田 勇人	小児保健学、老年学	健康発達特論		* 中桐 斉之	生態情報学	生態情報学特論
	* 尾崎 公子	教育学	地域教育政策特論		* 中篤 一憲	環境経済学	環境経済・政策特論
	* 加藤 陽二	生化学、食品化学	生命環境特論		増原 直樹	環境政策論	環境経済・政策特論
	木本 幸憲	言語学	言語学特論		* 水上 優	建築論・建築設計学	建築・インテリア設計特論
	喜友名 菜織	民事法学、家族法	家族法特論		水島 靖典	建築構造、構造解析	建築構造特論
	* 坂本 薫	食物学、調理学	食品科学特論		* 三田村 哲哉	建築史・意匠学	建築意匠特論
	高橋 綾子	アメリカ文学、アメリカ文化、環境文学	アメリカ研究特論		* 三宅 康成	農村計画学・農業土木学	農村計画特論
	田中 更沙	代謝栄養学、臨床栄養学	実践栄養学特論		* 安枝 英俊	建築計画学	建築計画特論
	* 寺西 雅之	文体論、英語教育・学習論	環境英語表現特別演習	Ⅲ 共生博物部門	* 赤澤 宏樹	緑地計画学・造園学	ランドスケープ計画特論
	友繁 義典	英語の文法・語法、意味論・語用論	英語意味論・語用論特別演習		池田 忠広	古爬虫両棲類学	古生物学特論
	* 中出 麻紀子	公衆栄養学	実践栄養学特論		* 石田 弘明	植生学、保全生態学	植生学特別演習
	* 永井 成美	栄養教育、栄養生理学	生命環境特論		* 太田 英利	系統分類学、生物地理学、	系統分類学特論
	柳楽 有里	アメリカ文学、アメリカ文化	英語圏文化研究特論		大平 和弘	環境計画学・造園学	ランドスケープ保全特論
	西村 洋平	哲学・倫理学	人間学特論		* 栗山 武夫	保全生態学、景観生態学	個体群生態学特論・野生動物管理フィールド特別演習
	野村 健	生物物理学、運動生理学	トレーニング特論		* 黒田 有寿茂	植物生態学、植生学、保全生態学	植物生態学特論
	深川 宏樹	文化人類学	文化人類学特論		* 三枝 春生	古脊椎動物学	古脊椎動物学特論
	* 村上 明	食品機能学	食品科学特論		* 高木 俊	個体群生態学、群集生態学	個体群生態学特論
	森 寿仁	運動生理学、トレーニング科学	生涯スポーツ教育特論		高田 知紀	合意形成学、地域計画論、風土論	国土空間学特論
	山口 裕毅	教育哲学・教育思想史	教育原論特論		* 高橋 鉄美		進化生態学特論
	* 吉田 優	病態解析学、分析医科学	実践栄養学特論		中濱 直之	保全遺伝学、保全生態学、系統地理学、群集生態学	分子生態学特論
	* 吉村 美紀	食品プロセス科学、食品物性	食品科学特論		* 藤本 大介	森林生態学	保全生態学特論
Ⅱ 社会環境部門	* 井関 崇博	社会学	環境社会学特論		* 藤本 真里	都市計画学	まちづくり特論
	* 伊藤 雅之	生物地球化学	水圏環境学特論		* 森光 由樹	保全遺伝学、野生動物医学	保全生態学特論
	* 宇高 雄志	住宅計画	住宅計画特論		山崎 健史	系統分類学、生物地理学	種生物学特論
	* 太田 尚孝	都市計画学	都市計画特論		* 山端 直人	農村計画学、農業政策学、アクションリサーチ論	野生動物管理フィールド特別演習、ワイルドライフマネジメント特論
	* 大橋 瑞江	森林生態学	森林生態学特論		* 横山 真弓	野生動物管理学	ワイルドライフマネジメント特論
	* 奥 勇一郎	応用気象学	大気科学特論		頼末 武史	海洋生態学	海洋生物生態学特論
	* 糟屋 美千子	言語社会学、メディア・ディスコース分析	言語社会分析特論				

*印は、研究指導教員

博士後期課程教員と授業科目内容							
Ⅰ 人間環境部門				Ⅱ 社会環境部門			
	石倉 和佳	英文学および英文学史の視点から			赤澤 宏樹	緑地計画学の視点から	
*	伊藤 美紀子	疾患における代謝異常と栄養療法の視点から		*	石田 弘明	植生学の視点から	
	乾 美紀	マイノリティの教育問題とそれに対する教育支援の視点から		*	宇高 雄志	人間居住の視点から	
*	内田 勇人	子どもの発達と健康、高齢者の健康の視点から		*	太田 英利	歴史生物学の視点から	
*	尾崎 公子	教育政策の視点から		*	大橋 瑞江	生態系の構造と機能の視点から	
*	加藤 陽二	食品・生命科学と生活環境の視点から		*	木村 玲欧	社会科学的手法による災害・防災研究の視点から	
	坂本 薫	食べ物に関わる食生活環境の視点から			土川 忠浩	住環境創造論の視点から	
*	寺西 雅之	文体論および英語教育・学習論の視点から			横山 真弓	野生動物管理学の視点から	
*	永井 成美	生体内環境と食との関わりという視点から					
	村上 明	食品成分の機能性についてストレス応答の視点から					
*	吉田 優	代謝物解析の視点から					
*	吉村 美紀	食品に対するヒトの感覚機能と健康の視点から					

*印は研究指導教員



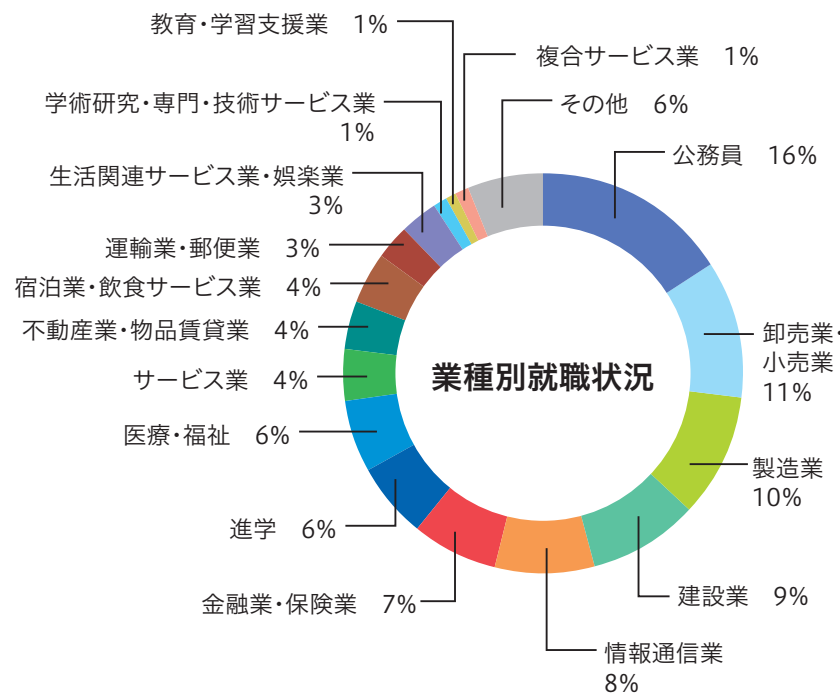
卒業後の進路（2020年度）

就職率

98.3%

環境人間学部は文理融合の学部であることから、就職先は卸・小売、製造、建設、情報通信、サービス、金融など多岐にわたっており、さらに事務職から技術職まで様々な分野で活躍しています。2020年度の就職率は98.3%でした。兵庫県庁や市役所など公務員への就職が16%と一番多いのも特徴です。

コロナ禍で全国的に大卒の内定率が下がる中、希望の進路から方向転換をした学生もありましたが、建設業、医療福祉、小売業等の分野で、建築や栄養などの専門性を活かして活躍の場を得るなど、全国平均よりも高い就職率を保ちました。



主な進学・就職先

- 建設業 (株)竹中工務店、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、旭化成ホームズ(株)、住友林業アーキテクノ(株)、セキスイハイム近畿(株)、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
- 製造業 タキロンシーアイ(株)、三ツ星ベルト(株)、タテホ化学工業(株)、石原産業(株)、(株)ユーシン精機、日本毛織(株)、菅公学生服(株)、(株)ナリコマエンタープライズ、モロゾフ(株)、協同乳業(株)
- 情報通信業 ソフトバンク(株)、(株)PHP研究所、(株)ぎょうせい、JRAシステムサービス(株)、(株)ディーガイア、(株)デジアラホールディングス
- 運輸業・郵便業 大阪市高速電気軌道(株)、神戸市新交通(株)、山陽電気鉄道(株)
- 卸売業・小売業 (株)阪急阪神百貨店、(株)ホンダモーターサイクルジャパン、(株)ペイクルーズ、日本調剤(株)、ウェルシア薬局(株)、(株)サンドラッグ、(株)ダイエー、(株)三栄コーポレーション
- 金融業・保険業 兵庫信用金庫、姫路信用金庫、神戸信用金庫、播州信用金庫、尼崎信用金庫、住友生命保険相互会社、(株)京都銀行、(株)中国銀行、近畿産業信用組合
- 不動産業・物品賃貸業 (株)東急コミュニティー、(株)長谷工コミュニティ、(株)長谷工ライフネット、ヤング開発(株)、(株)日住サービス
- 宿泊業・飲食サービス業 エームサービス(株)、(株)ワールドワン

- 生活関連サービス業・娯楽業 (株)テレビ朝日ミュージック、生活協同組合連合会大学生協事業連合(東海地区)
- 医療・福祉 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会、西宮協立脳神経外科病院、社会医療法人製鐵記念広畑病院、神戸大学医学部附属病院、恩賜財団済生会有田病院、社会福祉法人みやび
- 複合サービス事業 生活協同組合コープこうべ
- サービス業 DSP(株)、パーソルパナソニックファクトリーパートナーズ(株)
- 学術研究・専門技術サービス業 (株)阪技、(株)エイジス
- 公務員 大阪管区气象台、神戸地方検察庁、国土交通省近畿地方整備局、兵庫県庁、徳島県庁、山口県庁(建築職)、西宮市役所、明石市役所、加古川市役所、たつの市役所、宍粟市役所、赤穂市役所、相生市役所、宇佐市役所(管理栄養士職)、紀宝町役場、兵庫県教育委員会(栄養教諭)、神戸市消防局、宝塚市消防本部、高知県警察本部
- 進学 兵庫県立大学大学院、筑波大学大学院、京都工芸繊維大学大学院

取得できる資格 環境人間学部では下記のような免許、資格を取得することができます。

教員免許		●高等学校教諭1種(保健体育) ●中学校教諭1種(保健体育) ●栄養教諭1種※1
他の国家資格等	取得資格	●栄養士※1
	受験資格	●一級建築士※2 ●二級建築士※3 ●管理栄養士※1

※1 食環境栄養課程のみ。

※2 受験資格を取得するためには必要単位数の指定科目を履修して卒業する必要があります。免許登録には2年間の実務経験が必要です。

※3 受験資格を取得するためには必要単位数の指定科目を履修して卒業する必要があります。

放課後MAP



カンちゃん (下宿生)

食環境栄養課程3年生。
可愛いもの大好きで
自炊も勉強も頑張る
しっかりもの！

■「好き」にかこまれた1日

4限まで授業を受けて友達とお気に入りのカ
フェCHOCODAKE®へ。期間限定のチョコバ
ンでほった落した！解散後、夜ご飯の買い
物のためにセブンスーパーのヤマダストア②
へ、と思ったけどやっぱりいつものマックスバ
リュで安く済ませることに。節約節約！って。
それと友達のために誕生日ケーキ、という
ことで雑貨屋EFFECT③とFuran④をはしご！
可愛いもの沢山買って大満足！

キョウちゃん (自宅生)

国際文化系2年生。明
石在住の電車通学生。
シェイクスピアから英
文学の沼にハマった
おっとり系。

■のんびり放課後さんぽ

今日は1限があるため6時起き。早起きは大変
だけど、今日は3限で終わりが午後のはん
びり。日本文化も知らないうちに、てことで日本
庭園で有名な好古園⑨に行ったら景色が満喫。近
くの遊歩道に猫スポット⑩が！ベンチで昼寝し
ている姿に癒やされたー！帰りがけに駅前の書
店へ。英文学の棚に直行し、カズオ・イシグロ
の小説を購入。明日も早起き頑張ろう。

放課後MAP

ヤマダストア

姫路や加古川など兵庫県南西部を
中心に展開されている、「ちょっと
贅沢なスーパー」。オーガニックの
製品なども売られていて質の良い
食生活を送れるかも。

ユニクロ

マクドナルド

2

1

Furan

自家製のパンと美しい
ケーキたち！

本学卒業生が毎週水～日
にシェアカフェスペース
「cobototo」で営業中。
名物とろけるショートケーキ
はまるでクリームのお姫様♡



EFFECT

乙女心くすぐる日用品からグル
メまで！行ってみる価値あり

キャンパスを南西に進むと見えて
くる雑貨屋さん。地元のパン屋さ
んや手作りアクセサリー屋とのコ
ラボイベントの開催にも注目！！



マックス
バリュ

名古山霊苑

3

姫路文学館

建築家 安藤忠雄氏による
設計！

播磨ゆかりの文学者や学
者を紹介する文化施設。姫
路の歴史も学べる。姫路初
心者にオススメ！

MARGUERITE SPOON

大きくて見た目もかわいい！
ニューヨークスタイルのスクーン屋さん

前を通るとバターの香りが漂い思わず立ち寄っ
てしまう！インパクト大で「映え」ること間違
いなしのスクーンはお土産にもってこい！！



ムッシュ新在家店

アーモンドバターとデカ盛りの
カフェといえばここ！

姫路に3店舗を構え、テレビでも
よく取り上げられるムッシュ。
ボリュームだけでなくどの料
理もとっても美味しい。
アーモンドバターは注文必至！



Cercle

選ぶのが楽しい！

種類豊富なサンドウィッチ

キャンパスからすぐの立地に今
年2月にオープン！種類が多く、
価格もお手頃。売り切れ次第終
了なのでお早めに！！



5

兵庫県立大学
環境人間学部

4

ファミリーマート

6

CHOCODAKE

運命のチョコレートに出会える！？
人気のチョコレート専門店！

約20種類のチョコレートがアイスクリームやドリ
ンクなどで楽しむことができます！奥の深い
チョコの世界に没頭に行ってみては？



ローソン

7

8

9

10

好古園

姫路城

11

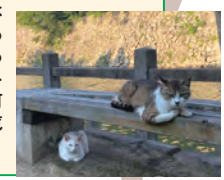
姫路市立美術館

赤レンガが印象的なこ
の美術館はその建物自
体の評価も高い後ろに
聳え立つ姫路城とのコ
ントラストが幻想的！



姫路城堀沿いの遊歩道

春は桜道に、夏は
緑のトンネルになる
この遊歩道は知る
人ぞ知る猫スポット
でもあるのです！可
愛い猫と自然で気
分もリフレッシュ！



男山配水池公園

隠れた絶景スポット！
姫路の街を一望できる！？

姫路城の西側にある小高い丘
は昭和4年に完成した姫路で
最も古い配水池。正面
に高く聳え
立つ階段は
何と198
段！息を切
らせて登る
とそこには
絶景が！



12

Carma

姫路で夜カフェするならココ！

おみそ筋を姫路城の方面にまっすく
進むとあるこのカフェは夜まで開い
ているんです！落ち着いた店内は
ゆっくり友達と話すのにぴったり！



山陽姫路駅

JR姫路駅

キャンパスに通う3年生が企画編集を担当！



社会デザイン系

堀田・桑鶴・松田・大前・中野

ジンくん (自宅生)

環境デザイン系2年生。建築
士を目指す、自他ともに認め
る建築オタク。安藤忠雄設
計の姫路文学館⑦に見とれ
て遅刻した過去をもつ。

■ぼくのオタ活day

3限までの授業を終え、今日は待ちに待った
恒例の建築巡り！向かったのは姫路市立美術
館⑪。姫路城を背負う赤レンガ造りの温かくも
勇敢な魅力に興奮が止まらない。帰りに寄っ
たのは、気になっていたスコーン専門店マー
ガレットスプーン⑫。スコーン以外の焼き菓子
もたくさんで家族の分も買って帰る。喜んで
くれるといいなあ。

ゲンくん (下宿生)

人間形成系2年生。ス
ポーツと友達と遊ぶこ
とが大好き！将来の夢
は体育の先生



■俺のババフルチャージ生活

スポーツ実習後、朝買ってきたCercle⑤の
栄養満点なサンドイッチを食べて疲れた体を瞬
時にリフレッシュ！夕方からムッシュ④でアル
バイト。同じ教職目指してる友達が食べに来て
くれて、バイト中ついつい話で盛り上がった。
仕事は大変だったけど、まがいが大好物のボ
リュームなランチビラフで瞬時にテンショ
ンUP！食費も浮いてラッキー！明日の保健指導
も頑張れそうやわ！

CAMPUS MAP



■A棟、F棟

講義のときに行く場所です。200人以上が講義を受けられる教室やPC教室などがあります。

■B棟、E棟、S棟

先生方の研究室がある建物であり、環境人間学部幅広い研究を行っている場所です。

■学術情報館(G棟)

専門書や小説などたくさんの書籍があります。調べたいことがあったら、ここに来てみては？

■学生会館(L棟)

文房具から住まい探しまで大学生活を支えてくれる生協や安くておいしい食事を提供してくれる食堂があります。

■講堂(K棟)、ゆりの木会館(Q棟)

旧制姫路高校時代の建物であります、朝ドラのロケ地でもあり、大正の雰囲気が残る場所です。

環境人間学部の
“今”がわかる学部サイトや
公式SNSをチェック!!



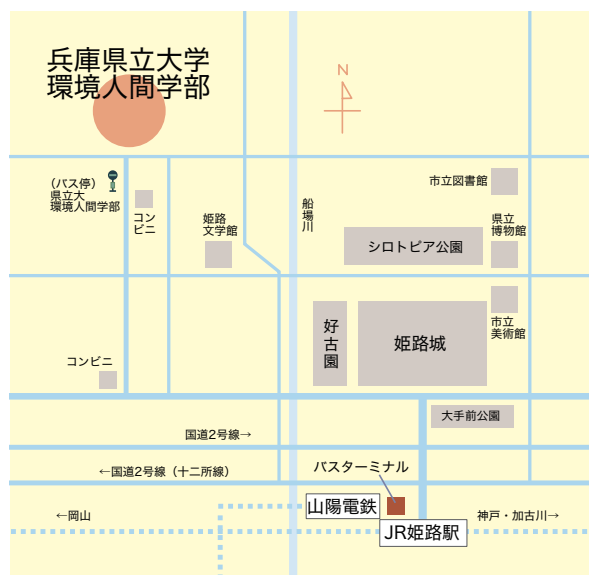
学部サイト



Twitter



YouTubeチャンネル



交通 アクセス

JR・山陽電鉄 姫路駅北口より神姫バス 220円
9番乗り場 西高前・田寺北口行等
10番乗り場 姫路高校前・書写山ロープウェイ行等
【乗車時間約10分】「県立大環境人間学部」下車すぐ

お問い合わせ先

兵庫県公立大学法人
兵庫県立大学 環境人間学部

〒670-0092 兵庫県姫路市新在家本町1-1-12
Tel : 079-292-1513(直) Fax : 079-292-1530
E-mail : gakumu@shse.u-hyogo.ac.jp